

ともに



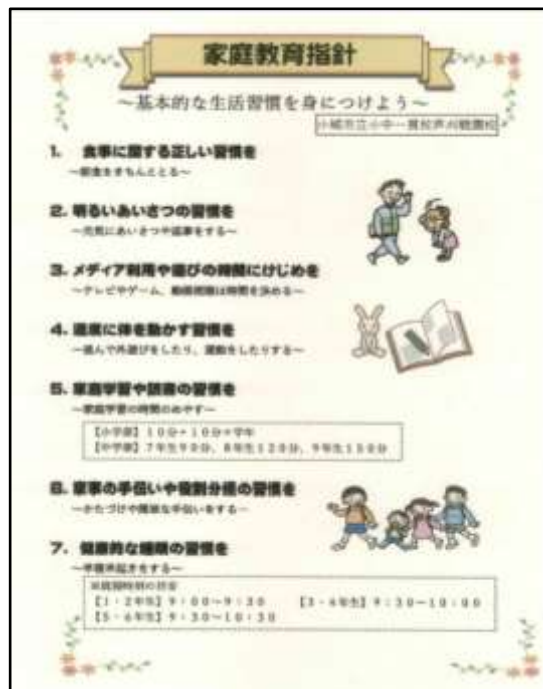
～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第5号 令和8年 5月13日(水)
文責：副校長 深川 治孝

家庭教育指針強化週間

5月8日(金)～5月14日(木)は、「家庭教育指針強化週間」です。先日、文書を配布していましたが、今年度も学期に1回実施します。

「基本的な生活習慣を身につけよう」ということで、以下の7項目挙げています。①正しい食事②あいさつ③正しいメディア利用や遊びの時間④適度な運動⑤家庭学習や読書⑥片付けやお手伝い⑦健康的な睡眠です。これら7項目の「振り返り表」をもとに、ご家庭での過ごし方を見直してもらいます。「小学部」は、家庭に持ち帰らせますので、お子さんと話し合って毎日記入していただき、毎日持たせてください。「中学部」は、学校で記入させます。どちらも、最終日には【お家の方より】を記入し、翌日学校に持たせてください。

今回の強化週間を機に、子供たちはより一層、学習習慣や生活習慣を身につけてほしいです。これまで以上に、ご家庭と学校が連携、協力していきながら子供たちを育てていければと思います。保護者の皆様のご理解とご協力、よろしくお願いいたします。



授業参観・保護者懇談会

5月1日(金)の授業参観では、ご多用の中、多数ご参観いただきありがとうございました。1年生にとっては初めての授業参観でしたが、たくさんの保護者の皆様に見守られ、頑張っている自分の姿を見てもらおうと、恥ずかしがりながらも張り切って活動している様子が数多く見られました。他の学年も、学習課題に対して一生懸命考え、積極的に発言するなど、集中して学習に取り組む姿が見られました。

また、「保護者懇談会」にも多くの方に参加していただき、ありがとうございました。今後も、学校と家庭が連携し、教育活動がさらに充実できるよう、職員一同、児童生徒が楽しく意欲的に学べるような授業づくりに努めてまいります。

今後とも、本校教育へのご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



3年生夏野菜の苗植え



学校教育目標の重点目標の一つに、「保護者・地域連携の推進」をあげています。地域や家庭とのつながりを大事にし、連携を密にして子供たちの成長を共に見守り育てていくことを目標としています。また、地域の皆様に専門的にご指導いただけることで、学校での活動がさらに有意義なものになります。地域の方々とふれ合い、地域の生活や文化を学ぶことは、「郷土を誇りに思い、郷土の将来を担う子ども」を育てるためにもとても貴重な機会です。

先日4月27日(月)に、JA 女性部・おつ姫会・コスモス会の皆様に、3年生の野菜の苗植えをご指導いただきました。植え方や支柱の立て方、水やりの仕方など丁寧に教えていただき、子供たちは熱心に活動していました。ご協力に感謝いたします。



第1回学校運営協議会

今年度も芦刈観瀾校学校運営協議会がスタートしました。この学校運営協議会(コミュニティスクール)は、学校と地域住民の皆様との双方向の信頼関係を深め、地域及び学校がその教育力を相互に高めることにより、子供たちの豊かな学びと育ちの創造を目指すことを目的としています。

5月8日(金)に、今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。芦刈町の南里和則様、森永健一様、川崎和矢様、松谷正生様、松永奈緒子様、地域連携コーディネーターの田中麻衣子様、PTA 会長の森山直洋様が今年度の委員として関わってくださいます。

当日は、学校経営方針や学校評価計画、学校行事等の説明をし、委員の皆様からのご意見等を聞かせていただきました。地域とともにあるよりよい学校づくりのために、地域や保護者の皆様には、学校運営に対する様々な気付きやご意見、ご感想を直接または委員の皆様を通じて学校までお寄せいただければと思います。

